

おだか

第 29 号

2015

平成 27 年 2 月 4 日 (水)

南相馬市

小高小学校

学校だより

節分は、季節の分かれ目の意味で、「立春」の前
の日のことで、春が来るのを喜ぶ行事です。



なぜ、豆をまくのでしょうか。

災害や病気、飢饉など悪いことは鬼の仕業と考えられていたため、
鬼の苦手な豆をぶつけてこれを追い払うためです。この行事は、文武
天皇（大仏を作った聖武天皇のお父さんにあたります。）の頃に始ま
ったそうです。

節分で身を清めて、たくさんの福を呼び込みたいですね。

節分の由来

ひな人形を飾りました



今年の年男、年女の子どもたちと一緒に。

2月2日(月)、小高浮舟ふれあい広場の館長、島尾様が本校においでになり、
お手伝いの方と3名で、ひな人形を飾って
くださいました。あわせて、お家でも
ひな人形を作り、病気や事故から子ども
の身を守ってくれるようにと、折り紙も
一緒にいただきました。

ひな人形は、3月6日の授業参観後に
片付ける予定です。展示期間は十分あり
ますので、学校においでの際はぜひご覧
ください。さらに、お家の方にレグウ
オーマーもいただきましたので、お子様
をとおして、お配りいたします。

本校は、「ふわっとことばで 伝
え合おう」を合い言葉に、人間関係
をあったかく包む言葉遣いや、伝え
方を学習してきました。その人間関
係を作る第一歩はあいさつです。

そこで、保健委員会では昨年9月より昇降
口に立って「おはようございます。」と声をか
ける「あいさつ運動」を行ってきました。お
かげで、本校の子どもたちは、毎朝元気な声
であいさつできるようになりました。あいさ
つ運動でがんばっている子どもたちは、右
のみなさんです。



小野田和輝（5年）さん

原内 楓花（4年）さん

梅田 羚和（2年）さん

高野 日和（2年）さん

ほかに、原町バスから元気にあいさ
つしてくれているのは

山田 美瑛（3年）さんと

佐藤 愛海（3年）さんです。

伝統音楽を鑑賞

1月29日(木)の5校時に、小高区4校の3・4年生を対象として音楽鑑賞会を行いました。

これは、日本赤十字の「東日本復興支援事業」の一環として行われたものです。

琴を演奏する遠藤千晶さんと、尺八を演奏する善養寺恵介さんのお二人においでいただき、日本の伝統音楽を楽しみました。

遠藤千晶さんは、文化庁芸術祭賞新人賞や日本伝統文化振興財団賞を受賞された有名な箏曲家です。福島市にお住まいで福島県しゃくなげ大使にも任命されています。

善養寺さんは東京藝術大学邦楽科の非常勤講師を務めた方で現在もさまざまなリサイタルを開いている方です。

鑑賞会では、「きびたきの森」や「かくれんぼ」「青海波」などが演奏され、子どもたちは、日本の美しい旋律を味わいました。

途中、本校を昨年卒業した山口紗季さんが遠藤千晶先生と一緒に琴の演奏に参加してくれました。山口さんは、2歳の時から琴を始め、今は福島にいる遠藤千晶先生にレッスンをいただいているそうです。将来は遠藤さんと同じ箏曲家になりたいとのことでした。自分の目標をきちんと持っている山口さんにも感心しました。



遠藤千晶先生と一緒に演奏する山口さん

豆まきをしました。



豆を拾う4年生



おしらせ

4日(水)、南相馬チャンネルで、本校の児童が歌う「南相馬市民の歌」が放映される予定です。どうぞご覧ください。



